

豊田市下山地区で確認されたアズマモグラ

河辺勇治*・清田佳奈**・森本正俊***・子安和弘⁺・織田銑一⁺⁺

Mogera imaizumii (Mammalia, Soricomorpha, Talpidae) from Toyota City,
Aichi Prefecture, central Japan

Yuji Kawabe*, Kana Kiyota**, Masatoshi Morimoto***, Kazuhiro Koyasu⁺ and Sen-ichi Oda⁺⁺

はじめに

アズマモグラ *Mogera imaizumii* は、主に本州及び四国に分布する日本固有の小型のモグラ類で、本州中部以北では連続した分布を示すが、中部以南及び四国では不連続で孤立した分布となっている (Kawada and Yokohata, 2009)。

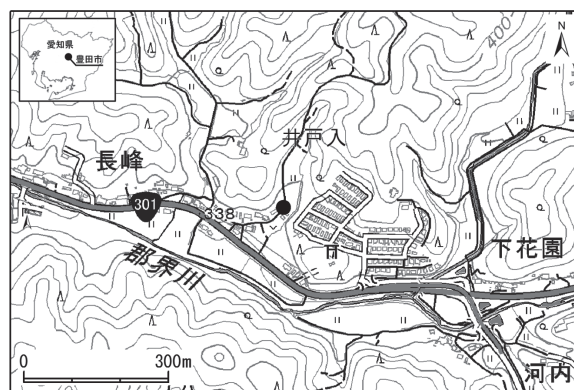
愛知県内のアズマモグラの分布は、専ら土壌の発達が悪い山地ないし丘陵地に限定されている (子安ほか, 2001)。また、アズマモグラは生息密度が低く、その上フィールドサインが残りにくいことから、本種の記録は非常に少ない (子安ほか, 2001)。本種の県内での分布域は本州北部個体群の最南端で、かつ平地や丘陵地の小個体群が孤立しているため、これら小個体群は絶滅する危険性が高く、愛知県レッドリストにおいて絶滅危惧Ⅱ類 (VU) とされている (愛知県環境部, 2015)。

2016年に豊田市下山地区において、愛知県による豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業 (トヨタ自動車新研究開発施設計画) に伴う環境調査が実施され、筆者らは、その調査の過程でアズマモグラの死亡個体を拾得し外形計測や歯式観察を行った。愛知県内にお

けるアズマモグラの報告は少なく、本拾得個体の記録を残すことは意義あることと思われるので、ここに報告する。

拾得場所の概況

2016年10月15日、愛知県豊田市花沢町井戸入地内の舗装農道上で、死亡個体1個体を発見し、拾得した (第1図)。



第1図. アズマモグラ拾得地点 (●)。

国土地理院の電子地形図 25000 に「井戸入」を追記して使用。

* エヌエス環境株式会社. NS Environment Corporation, 2-907 Sekohigashi, Moriyama-ku, Nagoya, Aichi 463-8541, Japan.

** トヨタ自動車株式会社. Toyota Motor Corporation, 1 Toyota-cho, Toyota, Aichi 471-8571, Japan.

*** 愛知県豊田工事事務所. Aichi Toyota Construction Office, 2-5-1 Mizuho-cho, Toyota, Aichi 471-0863, Japan.

+ 愛知学院大学歯学部. Aichi Gakuin University, 1-100 Kusumoto-cho, Chikusa-ku, Nagoya, Aichi 464-8650, Japan.

++ 愛知県名古屋市長東区よもぎ台 3-518. 3-518 Yomogidai, Meitou-ku, Nagoya, Aichi 465-0091, Japan.

Corresponding author: Yuji Kawabe. E-mail: kawabe-y@ns-kankyo.co.jp

原稿受付 2017年10月28日. Manuscript received Oct. 28, 2017.

原稿受理 2017年12月6日. Manuscript accepted Dec. 6, 2017.

キーワード: アズマモグラ, 豊田市, 下山地区.

Key words : *Mogera imaizumii*, Toyota City, Shimoyama area.

拾得場所一帯は、標高 347 m に位置する山間部の放棄された谷津田で、周囲は落葉広葉樹林に囲まれている(第 2 図)。

測定値及び歯式

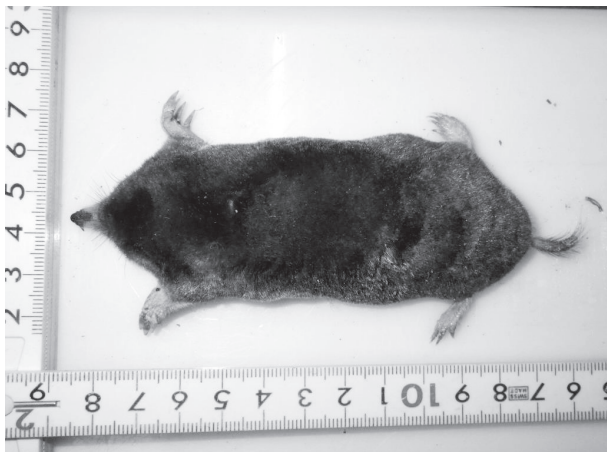
拾得した個体は腐敗しておらず、比較的新鮮なものであった(第 3 図)。測定値は第 1 表のとおりである。

解剖の結果、性別は雄で、精巣の大きさは 3.0 mm × 1.7 mm と肥大していなかった。歯式は $3/2 \cdot 1/1 \cdot 4/4 \cdot 3/3$ で、上顎切歯列の形状は V 字形であった。なお、頭骨の測定は行っていない。

標本は解剖後、100% のエチルアルコールで液浸固定され、愛知学院大学歯学部解剖学講座で保管されている。



第 2 図. 拾得地点周辺の状況。



第 3 図. 拾得したアズマモグラ。

第 1 表. 拾得したアズマモグラの測定値。
() 内の値は爪を含む測定値。

計測部位	測定値
頭胴長	105.5 mm
尾長	21.1 mm
肛門から 背側	15.6 mm
手掌全長×手掌幅	12.4 (17.6) mm × 11.4 mm
後足長	12.3 (16.5) mm
体重	43.0 g

考 察

豊田市下山地区で拾得したモグラの死亡個体は、測定値と歯式及び上顎切歯列の形状(Abe, 1967)からアズマモグラと同定される。本個体は、体サイズの地理的変異が大きいとされているアズマモグラの中では(阿部, 2000)、サイズが小さい個体であった。

なお、県内でのアズマモグラの分布のうち本個体の拾得場所である豊田市下山地区での記録は、1988 年及び 1991 年の 2 例(下山村, 2005)のみである。一方、同地区以外の豊田市における記録は、子安ほか(2001)にて豊田市大滝町で死体、稲武地区でトンネルが報告されている。野呂(2009)は、2006 年 11 月から 2007 年 1 月にかけて調査を実施した矢作川上流域である旭地区及び小原地区において、アズマモグラの可能性のあるトンネルを確認しているが、個体の捕獲には至っていない。また、子安ほか(2016)によると、2009 年 2 月から 2010 年 11 月にかけての調査において、藤岡地区及び小原地区の 2 地区でアズマモグラのトンネル及び死体が確認されている。

愛知県内ではコウベモグラと比較するとアズマモグラの標本は入手困難であるが、今回、比較的新鮮な死亡個体を拾得し保存することができた。今後、標本数が増加すれば、下山地区だけでなく愛知県内のアズマモグラの遺伝的特徴を明らかにできる可能性が考えられる。

引用文献

- Abe, H., 1967. Classification and biology of Japanese Insectivora (Mammalia), 1. Studies on variation and classification. *J. Fac. Agr., Hokkaido Univ.*, 55: 191–265.
- 阿部 永, 2000. 日本産哺乳類頭骨図説. 北海道大学図書刊行会, 札幌, 279 p.
- 愛知県環境部, 2015. 第三次レッドリスト, レッドリストあい

- ち 2015. 愛知県環境部, 名古屋, 22 p.
- Kawada, S. and Yokohata, Y., 2009. *Mogera imaizumii* (Kuroda, 1957).
- Ohdachi, S. D., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A. and Saitoh, T. (eds), *The Wild Mammals of Japan*, Shoukadoh, Kyoto, 34–35.
- 子安和弘・小林秀司・大竹 勝, 2001. 愛知県の食虫類と翼手類.
名古屋哺乳類研究会, マンモ・ス特別号, (3) : 19–34.
- 子安和弘・岡田慶範・小鹿登美・吉村文孝, 2016. 豊田市生物
調査報告書, 分冊その 3, XIV 哺乳類. 豊田市生物調査報
告書作成委員会, 豊田市, 22–24.
- 野呂達也, 2009. 矢作川河畔林における哺乳類の基礎調査報告.
矢作川研究, (13) : 105–112.
- 下山村, 2005. 下山村史, 資料編 I (自然). りょうせい, 名古屋,
595 p.